

私の守口

歩いてつなぐ



守口を好きになることにしました

私の守口

歩いてつなぐ

contents

- 006 意外とある地元の名店
- 013 歴史的建造物が醸し出す独特の雰囲気
- 020 多様な買い物選択肢
- 024 攻めの教育投資



守口市駅北側リノベーション推進事業とは

今、世界の多くの都市で、まちなかを、車中心から人中心の空間へと転換することで、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変する取組が進められています。これらの取組は、ひと中心の豊かな生活空間を実現させるだけでなく、地域消費や投資の拡大、観光客の増加や健康寿命の延伸、孤独・孤立の防止といった、様々な地域課題の解決や新たな価値の創造につながります。

守口市でも「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成（ウォークブル推進都市）を目指し、令和3年3月に策定した「第6次守口市総合基本計画」をはじめとして、市政運営に係る基本方針等を定める各種の主要計画においても、守口の魅力と出会う機会を増やすことや、守口市駅周辺など市内外の多くの人を惹きつける地域のランドマークとなる都市の顔づくり、それらの魅力の発信による都市イメージの向上に向け、中心市街地のエリアマネジメントの推進に取り組むこととしています。その具体的なアクションプランとして、守口市駅北側を対象としたエリア価値の向上に向け、公民が連携して、共にまちづくりに取り組むための「守口市駅北側エリアリノベーション戦略」を策定しました。

エリアリノベーションとは、社会構造の変化するスピードが早い現代の新しいまちづくりとして、低利用の公共空間や空き家・空き地等を活用し、チャレンジできる場づくりやリノベーションにより、まちの魅力を積み上げ、エリアの価値やイメージを向上させるエリア形成手法です。再開発や区画整理など、長期的に計画を立て大きくまちを変えるのではなく、既存のまちの魅力やポテンシャルを生かし、共感・賛同する人々や事業者を集め、ともに「小さく試す」ことによって、少しずつ変化を起こし、エリアのイメージや価値を転換します。

すでに今ある魅力（地元の名店、歴史ある独特な雰囲気など）を守り育みながら、地域としての知名度やエリア価値の向上につなげ、その価値を生かすハード整備などにも取り組んでいきます。

守口市のまちづくり SWOT

O pportunities
 社会の動き
 伸びしろ チャンス
 ウォークブル

T hrests
 競争 脅威 競争相手
 他地域 他施設
 人口減少 少子高齢化

S trength
 顕著な魅力
 なくなると困る魅力
 文禄堀 独特な雰囲気
 交通利便性

守 る分野 → **攻** める分野
 歩いて楽しむプログラム
守口さんぽ
 立地・地形を活かすプログラム
ハード整備

W eakness
 潜在的な魅力
 あまり知られていない魅力
 意外とある地元の名店
 歴史的建造物が醸し出す
 独特の雰囲気
 多様な買い物選択肢
 攻めの教育投資

育 てる分野
 口コミ創造プログラム
SNS・メディア配信
 限られた資源を
 無駄にしないよう
 取り組まない

守る分野・育てる分野→攻める分野の順に進める

たとえ住んでいたり
毎日働いていたりしても、

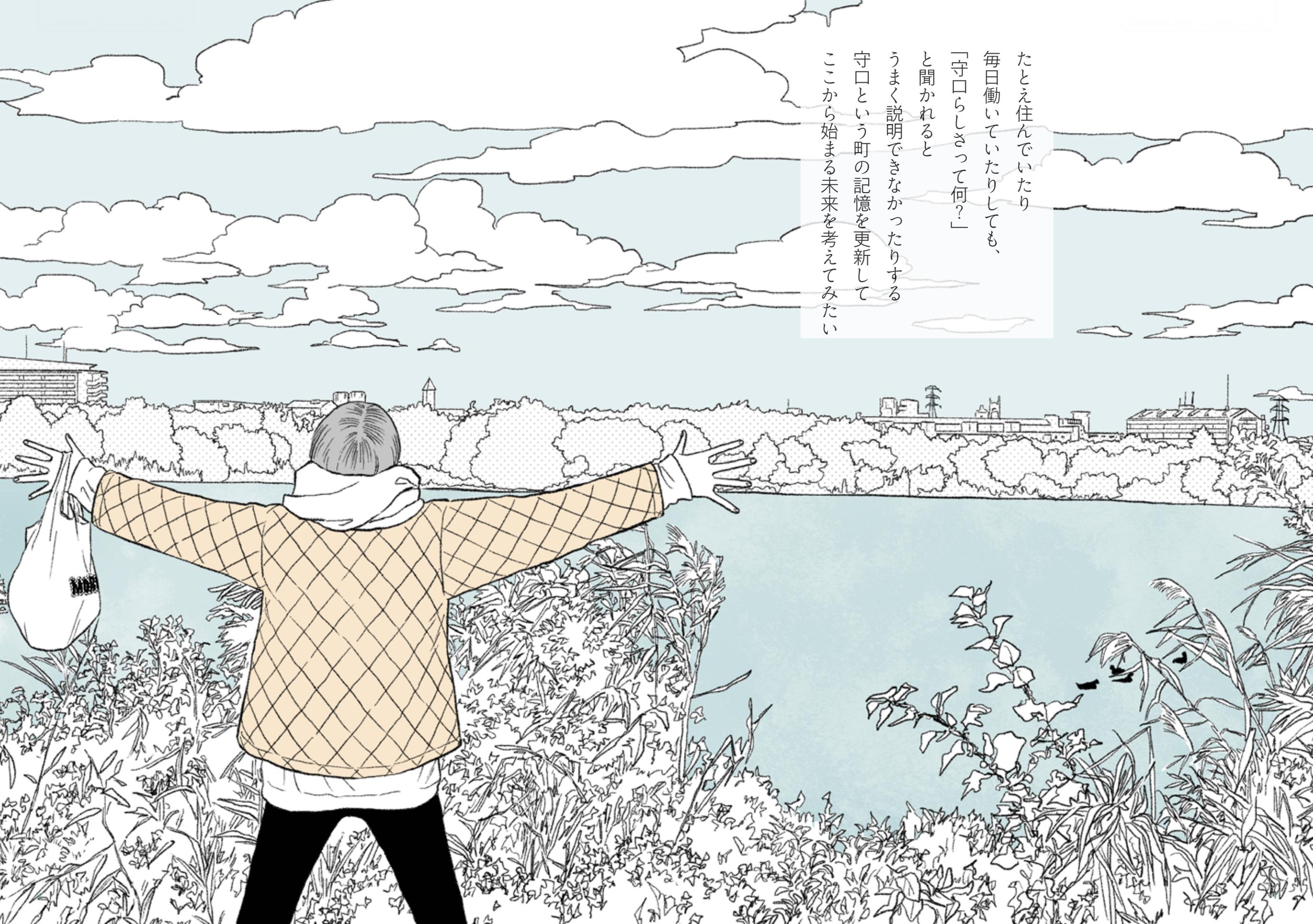
「守口らしさって何？」

と聞かれると

うまく説明できなかつたりする

守口という町の記憶を更新して

ここから始まる未来を考えてみたい



北海道の旬の食材が守口で楽しめる

North Dining
神衣

金下町 2-1-12 アーク Y 1F
平日 11:30-14:00
17:00-24:00 (23:00LO)
土祝 17:00-24:00 (23:00LO)
※日



創業 20 年。北海道の旬の食材と本場の味が楽しめる隠れ家のような店。北海道といえば、海鮮丼。名物の釜飯と迷います。ランチも営業していて、お昼からちょっと贅沢ができるのが嬉しい。

夜さんぽのいつものよみち

さんまタ立ち食堂

本町 1-3-1
17:00-24:00
※月



“守口の立ち飲み”の代表店。1階は立ち飲みですが、2階は着席可能。意外性のある素材の組み合わせと、ユニークなメニュー名で、気楽にコミュニケーションできるよう、工夫されています。

ひとりでも家族でも楽しめる

焼肉ホルモン
牛蔵 京阪守口店

寺内町 2-1-2
月-木 11:00-14:30(14:00LO)
17:00-22:30(22:00LO)
金 11:00-14:30(14:00LO)
17:00-23:00(22:00LO)
土 11:00-23:00(22:00LO)
日祝 11:00-22:30(s22:00LO)
無休



オーナー自ら買い付ける上質な黒毛和牛を、リーズナブルに楽しめる焼肉屋さん。お肉はもちろん美味しいがオススメは冷麺。もちつる食感の麺にスッキリとしたスープが、焼肉のシメにぴったり。テーブル設置のマイサーパーで生ビールが注げるマイ生は、飲み過ぎ注意w



豊秀松月線は、「守口の顔となる新たなストリート」として、東西・南北の軸に各エリアの特色をつなぎ、多様な人・活動・使い方ができ、常に守口の新しい魅力に出会える公共空間として整備します。

沿道店舗や近隣等の事業者、市民が道路を活用したオープンテラスやマルシェ等のイベントに活用できるようハード整備・ソフトのしくみ、ルールづくりを行い、店舗単体では生まれにくい価値や相乗効果、新しい魅力を生み出すチャレンジを創出する場、コンテンツや人が交わる場とします。歩道部の民地側に 3m の滞在・占用区域を設け、歩道・車道帯と分離します。歩・車道区域と滞在・占用

区域の間には、街路樹を設け、ゆるやかな境界をつくり、通行安全性や滞在性、快適性を高めるとともに、主に沿道店舗が占用できる区域としてオープンカフェやテイクアウト等のサービス提供に活用できる賑わい創出に資するゾーンを整備します。



ひと月ごとの 驚きと感動

cafe mikke

豊秀町 2-5-1
11:30-20:00
※水・日



定番のチーズケーキはひと月ごとに味が変わるスペシャルティ。たっぷりサイズの浅煎りコーヒーと相性抜群です。ランチセットや、土鍋ご飯も大人気で、お昼ときは満席となることもしばしば。テイクアウトも OK !

“長居して迷う、しあわせ

La gioia

日吉町 2-3-1
10:00-18:00
※水・日



毎日行きたい、センス抜群のお花屋さん。予算と雰囲気を伝えて、お店のかたにおまかせすれば、まちがいない!なんだけれど……あえて自分で、「あれもいい、これもかわいい」と、時間をかけて迷いたいところ。

癒しと自分磨きで整える

Relax&Beauty
la mana

金下町 2丁目
平日 8:30-18:00 最終 16:30
土日 8:30-19:00 最終 17:30
※要予約



オーナー自身が、皮膚科でも治らない皮膚炎に悩んだ末、栄養学などの専門知識を習得して開業したという癒しの空間。表面的、一時的な肌改善にとどまらず、原因を究明・解決をめざし、生活習慣などのアドバイスもしてもらえます。

青空の下 買いものしたり のんびり過ごしたり

豊秀松月線

豊秀町 2丁目
京阪本通 2丁目付近

豊秀松月線は、京阪守口市駅と国道 1 号線をつなぐ、守口のシンボルロード。かつて淀川の堤防道として整備された「文祿堤」へと続く階段、本町橋とその下を通る車道が立体的に交差するこの場所には、その歴史や文脈がどこことなく漂う。

豊秀松月線の歩行者の安全性や快適性を確保する道路拡幅が計画され、いよいよ整備がはじまった。近い将来、犬と散歩したり、ジョギングしたり、ぼーっとベンチに座って行んだり、知り合いに偶然出会って世間話したり、店舗の前にはテラス席や露店などが参み出し、買い物や食事をを楽しむ人の姿が見られるようになりそうだ。



歩いてつなぐ
私の守口
守口さんぽ

昭和タイムスリップ

来迎カレーの店
うべぼ

来迎町 5-17
11:30-14:30
17:30-20:00
※火



風情ある民家が軒を連ねる一角にあるカレー屋さん。このカレーは、たしかにスパイシーなんだけど刺激的じゃない。間くとバターも香辛料が控えめだとか。激辛系が苦手な人たちにとってのカレーの聖地です。



挑戦的エスニック

ピリヤニの家 守口店

寺内町 2-7-5 荒萬ビル 1F
10:00-15:00
18:00-22:00
※日

本格的なピリヤニ（パキスタン料理）が守口でも食べられる。見た目はチャーハンだけど、味はひとことというど、「初めて食べる味」なのに美味しい。パクチャーが苦手な人は「パクチャー抜き」も可能です。食後のラッシーもぜひ。



技術×空間にこだわったヘアサロン&ヘッドスパ

Sol.hair
LIFE SPA

本町 1丁目 3-3
中井ビル 4F
10:00-21:00 ※要予約
※不定休



京阪電車が見えるこの美容室では、ヘッドスパも受けられる。なにかに行き詰まったら、髪型を変えるだけでなく、心身ともにリラックスできるヘッドスパも一緒に。最強の気分転換。

悩みに寄り添ってくれる

be'leef.ric

桜町 5-9
ギャラント石土第2ビル 1F
10:00-19:00
無休

「あわたし、自分のために生きてないなあ」そう感じるとき行くのがここ。仕事が忙しく、髪もボサボサな状態から、見事に救い出してくれる。美容師さんもおしゃべりしながら、心も髪も蘇らせてくれる心のオアシスです。



新鮮な魚介は 角打ちで!?

ひよし酒店
立ち飲み倶楽部

日吉町 2-2-11
ウエリスアーバン守口1階
火・金 17:00-21:30 (21:00L)
土 15:00-21:30 (21:00L)
日 15:00-21:00 (20:30L)
※月



明るく、にぎやかな角地。「まえだ酒店」が移転しリニューアル。「角打ち=お酒を飲む場所、というイメージですが、新鮮なお刺身を堪能できる店の魅力はそのままに、一人でも複数人でも立ち寄りやすい。



ちょっとだけ、よそいきごはん

樂食イタリアン
マジョリカ

大枝東町 2-5
11:30-14:00 (13:30L)
17:30-22:00 (21:00L)
※月、不定休



イタリアンは私にとっては「ちょっとよそいき」。とくに夜とか、休日のランチの場合は、だれかと一緒に行き、シェアしながら、デザートの名物パナコッタまでちゃんと食べたいと思うのです。

貴重な町のパン屋さん

Les pains
favoris

豊秀町 2-5-11
7:00-18:00
※月、不定休



木調のドアが目印、おしゃれでかわいい佇まい。菓子パン、お惣菜パン、食パン、パケット……ひと通りそろそろ、守口を代表する町のパン屋さん。味、価格、お店の雰囲気、すべてが GOOD!

ここから紡ぐ 大切な人との時間

炉端焼き 一新

本町 1-3-10
17:00-24:00
無休

仕事でも、プライベートでも「ここぞ!」と気合いを入れたとき選ぶ店。Q_ 炉端焼きでいいの? A_ だいたいよ。野菜も魚介も、ここの食材選びはどれもピカイチですから!



立ち呑み屋を始めたころ
貴嶋 父から「学生のうちにチャレンジしておけ」って、アドバイスされてたんですよ。父自身が経営者だったから、その影響が大きいですね。「立ち呑みなら、僕にもできるかもしれない」ふとそう思い立って……。
—なぜ?立ち呑みを?
貴嶋 大学生からお酒を呑み始めて、初めのうちはお金もないし、呑み放題一択。そのうちだんだんと「ちょっと大人の飲み方をしたい」って思うようになって、行き着いたのが天満の立ち呑み屋街。そこで立ち呑みの面白さについて魅了されました。

—大学生でお店を始めたわけですね?
貴嶋 そうです。学生だからお金はないし、就活も並行してたので、時間もない。にもかかわらず、近所に居抜き物件が出たと訊くと、「これはもうやるしかない」って思っちゃいました。父から初期費用を借りて、改装はほぼDIY、100万円くらいで設えました。3年生で準備を始めたんですが、お店をオープンしたときには、4年生になってました。

自分にできることは何か?

貴嶋 ひとまず始めたものの、経営はもちろん、料理のこともよくわからない。
—どうしたんですか?
貴嶋 母や地域のパートさんに相談して、まずは、おばんざいスタイルからスタートしました。
—おばんざいスタイル?
貴嶋 昼間、僕が大学に行っている間に料理を作り置きしてもらって、夕方(僕が学校から帰って)店を開けるという。
—考えましたね。
貴嶋 いつも時間がなくて、忙しかったけど、楽しかった。スタッフみんなで集まってメニューを検討したり、運営改善方法を考えたりする時間は、僕にとって生きがいになりました。

—ここは、お客さん同士、仲が長いですよな。
貴嶋 一緒に経営をしてもらっているのが好きなんです。おしゃべり好きが集まっているのかもしれない。自然と会話が生まれ、そして仲良くなるお店にしたかったんです。スタッフとお客さんとの会話から、そのうちお客さん同士で会話がはずむようになり、今では部活(?)らしきものも行われて。ダーツ部、バトミントン部、ドッジボール部、麻雀部、競馬部……。—けっこうありますね。
貴嶋 兼部もできますし、全部入ってる人もいるんじゃないかな。



立ち呑みスタンド
ヨッコイシヨ 守口店

金下町 2丁目 2-3
16:00-23:00 / 14:00-23:00 ※月
※月

—守口ってどんなところ?
貴嶋 便利ですよ。買い物も、交通も。幅広い世代の人が暮らしているところも魅力のひとつかな。いろんな人がいるから、いろんなお店がある。個人店も、チェーン店も、一緒になって、街をつくっていく。まだまだ、面白いことができそうです。

何者でもない自分に戻る フラット空間

年齢も、肩書きも関係ない 人がつながる空間が作りたくて。

大学生で立ち呑み屋の経営をスタートし、現在3店舗を構える貴嶋さん。大阪市内ではなく、なぜここ守口を選んだのか? お話を伺いました



立ち呑みスタンド ヨッコイシヨ 守口店
代表 貴嶋 凌さん

これから守口で挑戦したいこと
貴嶋 おかげさまで2号店は、2周年を迎えることができたんですよ。
—わあ、おめでどうございます。
貴嶋 1号店のノウハウをマニュアル化し、アルバイトスタッフも積極的に採用しました。今、新たに3号店をオープンし、食材の新しい使い方にチャレンジしてみたいなと思っています。店舗ごとに、違った特徴が出せたらいいなと。

部活動のある飲食店

守口ってどんなところ?

守口を選んだ理由

—ところで、ここ守口でお店を始めたのはなぜなんですか?
貴嶋 地元だからです。それと、この辺りは飲食店同士けっこう仲が良く、自分の店が休みの日にほかの呑み屋さんに行ったり、合同イベントを企画したりというカルチャーが残っている。僕がそれにとっても気に入っているんです。

もうひとつの書齋

珈琲倶楽部

京阪北本通 2-9
7:00-18:00 月のみ 7:00-14:00
【ランチ】 11:30-14:00
※火

レトロで静かな純喫茶。「レトロワークにもってこいだな」とパソコンを開いて、気づくと2時間が経過して驚いた。「ごめんなさい、長居すぎました」心の中でお詫びしながらお会計をしていると、「これからまたお仕事ですか?暑い大変ですね。頑張ってください」と店主の温かいメール。



たわいない会話を いつまでも

てづくりキッシュのみせ gokan.

京阪北本通 2-1-1
11:30-17:30 (17:00L)
※日・月・火・水

国産の小麦粉を使用したパイ生地に、季節の野菜や果物を詰めて焼き上げたキッシュは、いづれも抜群のボリューム感。「唯一無二」と大評判の海老カレーにもチャレンジしてほしい!



つつい、あれもこれも

ばん工房ラバン

西郷通 1-3-10
8:00-19:00
※月、第2、第4火曜日



ミックスサンド、あんぱん、塩パン、と、とにかくコスバのいい、地元で大人気のパン屋さん。甘い系か、おかず系か、ボリュームのあるやつか、軽いやつか、食パン、パケットという手も……と、迷った挙句、ついいろいろ買ってしまふ。買ってお店を出た瞬間から、つまみ食いしてしまうことも。

来るとほっとする、まちのケーキ屋さん

パティスリーブルボン

西郷通 2-6-14
10:00-19:00
※水

地元で長く愛される、昔ながらのケーキ屋さん。ケーキはいずれもレトロ感あふれる佇まい且つ大ぶりです。注文してからクリームを入れてくれるスタイルのクッキーシューはボリューム満点。食べ歩きも楽しい。



おしゃれにしつらえたいときの安心相談窓口

cozy plan

佐太中町 2-9-8
9:00-17:00
※日・祝

佐太をうろうろしていて、偶然見つけたインテリアショップ。廃材を利用して製作された1点ものが揃う。このアイテムがひとつあるだけで、がらりと部屋の印象が変わりそう。楽しい空想が止まりません。



オーダーメイドでつくりたい

Leather Arts Jonney

京阪北本通 5-10
13:00-20:00
※月・水



ダンディな店主が作る革細工は、すべてがかっこいい!自分だけの逸品に出会えるかも。オーダーメイドで作る財布はもちろん、カラフルなイーグルキーホルダーや子供も楽しめる革の手染めワークショップも大人気。最近はマルシェイベントにも積極的に出店中です!

気軽に本格イタリアンを

Binario

橋波東之町 3-2-38
京阪西三荘スクエア North 1 階
平日 11:00-22:00 (20:30LO)
土日祝 11:00-21:00 (20:00LO)
無休



グランシェフ・サルヴァトーレが手掛ける本格イタリアンがリーズナブルに味わえる。1人でも大人数でもシーンに合わせた楽しみかたができます。毎月第1日曜日はトモニマルシェも開催!地元出店者中心に飲食、美容、野菜販売、子ども向けプログラムなど家族で楽しめます!

おいしく安く美しく

菓子工房 Any

東光町 3-2-24
11:00-19:00
※火・水



2021年8月にオープンし、わずか3年足らずで守口でケーキを買うなら、ここ!といわれるほどの人気店に! "anybody =誰でも、が店名の由来。ケーキ1個から、気兼ねなく買えそう。

— 今後も住み続けたいんですね。
永松 はい。お気に入りのお店もたくさんあるし、歴史的背景に裏打ちされた文化もある。散歩やジム、お店でご飯を食べる時、いろいろな場所での人の温かさに触れる機会が多く、つくづく良いところだなと噛み締めています。
— よく行くお店、好きなお店を教えてください。
永松 やしまうどん、珈琲倶楽部、

— 守口でちょうどいい物件に出会えたのも大きかったですね。今年で3年目になりますが、思っていた以上に、まさに愛着を持って過ごせています。主人とは、この先ずっと住めるねと話しているほどです。
— なるほど、ありますね守口には。
永松 KANA、ファボりは私のQOLアップのお店です。

— ふだんのお買い物はどちらで?
永松 日用品はイオンで、すき焼き用のお肉とか、お刺身、お惣菜を買いたいときは京阪百貨店に行きます。大型商業施設が生活圏なのも便利です。
— お散歩コースは?
永松 特に決めていませんが、さくら広場や文禄堤、大枝公園はよく行きます。

— お友だちの反応は?
永松 「こんな良いお店あるんだね」って褒められます。(大阪市内と比べて) コスパいいねとも。もうちょっとこんなものがあればいいのにな、というものがあれば教えてください。
永松 わくわくするような場所があると嬉しいです。ゴルフ場、サウナ、ゲームボードカフェ、パブリックビューイング……! 日常の居心地の良さは最高なのですが、非日常感が足りない気がします。
— 長くダンスをやっていたんですが、守口にはスクールを見つけれず、やめてしまいました。大人の習い事みたいなのもあったらいいなと思います。

— 仕事柄、どんなまちに住みたいかとよく考えるんですが、スーパーや銀行なら、たいていどの町にもあり、決め手にはなりません。これがあるからこのまちが好き! となる要素が重要で、私の場合は、すてきなお花屋さんとおいしいパン屋さんなんです。
— 守口に友人はいますか?
永松 いえ、大阪市内が多いです。ときどき訪ねて来てくれると、はりきってお店を案内し、自慢しています。

— 大阪市内にある会社に通うご夫婦ふたり暮らしの永松さん。住み続けたいとまで思うようになった守口の魅力を教えてください。
永松 通勤至便で選んだ守口が、今はずっとに住み続けたい守口に。

永松 萌美さん (会社員)

ペペロンチーノをお試しあれ!

Bata BAR

浜町 2-1-18
11:30-14:30 (13:30LO)
18:00-23:00 (21:00LO)
※月



閑静な住宅街に2022年9月にオープンしたお店。ひかえめな音楽と、ひかえめな光に包まれる、落ち着いた空間。ボリュームあるパスタが美味しいと、家族連れ、女子会で利用する方が増えています。



創業60年。守口市民の健康と癒しを担う。

——こんにちは。すごく近くに住んでるんですが、ここには初めて来ました。

森 大宮温泉へようこそ。——ごんまりした「町の銭湯」みたいなところを想像していたので、広くてびっくりしました。それに明るい！

森 6、7年ごとにタイルの張り替えや、補修工事を行っています。古いのであちこちメンテナンスは欠かせません。——ところで森さんの1日の仕事って、どんな感じなんですか？

森 毎日12時ごろから湯を沸かし始めて14時にオープン。0時にお店を閉めてから、家内とふたりで風呂掃除。

森 自然光が降り注ぐ風呂が、ここの自慢です。

——おふたりでこの広い風呂を掃除するんですか？大変ですね。

森 ちょうど60年になります。親父はもともと心齋橋で豆腐屋をやっていたんだけど、僕が4歳のとき守口に引っ越してきて、ここに銭湯を構えたのが始まり。開業当初は浅湯と深湯、ふたつの浴槽しかなかったんですが、親父が2回、僕が1回、増改築して……いろいろなできちゃいました。

森 だいたい朝4時30分くらいまでかかりますね。その後就寝。昼に起きてまた湯を沸かす、この繰り返しです。——なかなかのハードワークですね。

——築60年には見えないですね。すごくきれいです。

森 娘がふたりいますが、継ぐことはないでしょうね(笑)。ここのところのサウナブームのおかげで、若いお客さんが、

少しずつですが、増えてきています。「また来よう」って思ってもらえるように、いろいろ工夫していかなくちゃ。

大宮温泉

大宮通 4-2-5
14:00-24:00
※土・日・祝の際は営業

森さん



太陽光がさんと降り注ぐ解放的な浴槽。すみずみまで掃除が行き届き、いつもピカピカ。



守口今昔物語

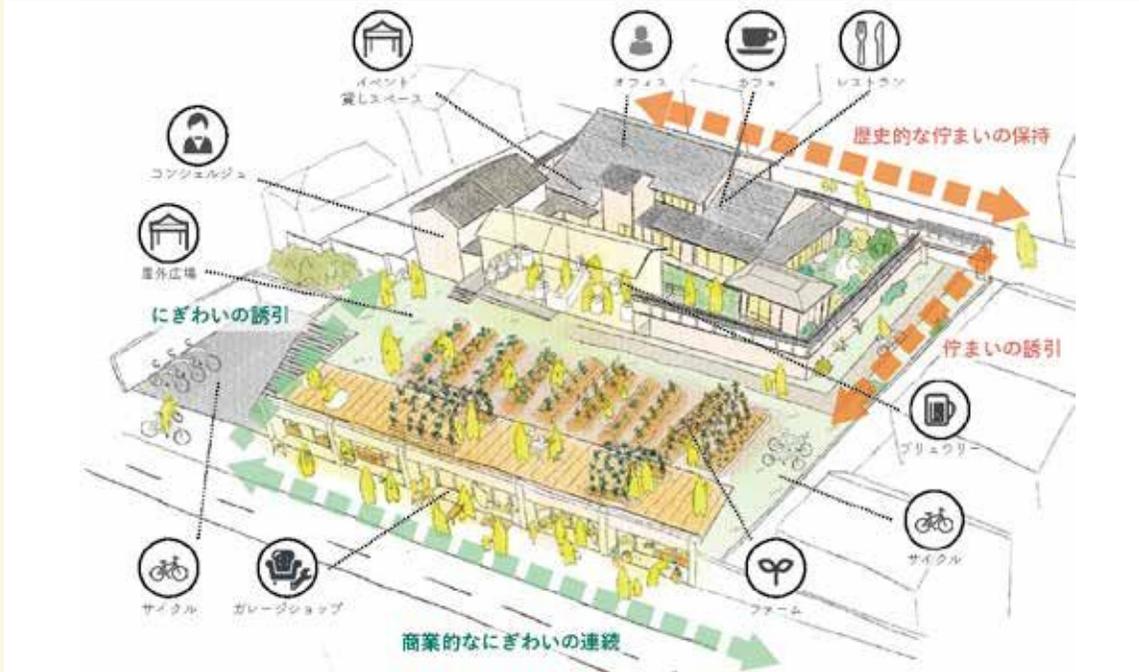
「明治18年と現在の比較」 出典『平成4・5年度有形文化財・無形文化財等総合調査報告書』(平成6年3月 大阪府教育委員会)



旧徳永家住宅活用事業

旧徳永家住宅は、江戸時代における京街道の宿場、守口宿に位置しています。旧京街道に沿って東に面する敷地の間口は約 35 m に及び、間口のほぼ中央に主屋を配してその南北両側には高塀が続いています。隣地境界に接した間口の南端には、敷地の西奥へと続く間口 2 m ほどの通路が設けられており、ガレージとなっている守口 68 号線側にも接道しています。

旧徳永家住宅は、河内木綿などを取り扱う問屋であったと言われていました。木造 2 階建ての主屋、L 字に連なる土蔵からなり、起(むく)りをもつ切妻造や漆喰を塗り込めたせがい造りの軒下、虫籠窓、袖うだつ、高塀など、特徴的な景観を今に残しています。長く空き家のままになっていた旧徳永家住宅跡地が、このたび新たな複合施設として生まれ変わります。守口の新たな拠点として活用すべく、企画・運営・管理を手掛けるおふたりにお話を伺いました。



R-play 和田 欣也さん
R-play 宇田 知令さん



— マニアックですね。中崎町でなく大正。

宇田 だれもが知ってる場所じゃなくて、ちよっと人とは違うところ、そこで自分だけのお気に入りを見つけて出すのが好きなんです。「あそこ良かったよ」って、自慢したい。

— その点、守口はいかがですか？

宇田 駅前には大きな百貨店があつて便利だし、ときどきはおしゃれなカフェにも行きたいという私にとって、ほどよいまちな感のある場所です。

和田 文化・歴史もあり、利便性もある。暮らし全体のバランスがいい。

徳永家の未来像

和田 「今からどこ行くの」「徳永行ってくるよ」「みたいな会話が生まれるのが理想ですね。気軽にふらっと立ち寄れる場所、日常の散歩とお出かけのついでに行くところ。

— 周辺のお店さんとのコミュニケーションはできそうですか？

宇田 まだまだですが、みなさん「楽しみです」と、ウェルカムムードで嬉しそうです。

和田 期待されているということかなと思います。

— 旧徳永家住宅活用事業の内容を教えてください。

宇田 1 階には大きなレストラン、その横に守口のクラフトビルを作るブルワリー、大きなレストランの土間部分にはイベントスペースができる予定です。2 階は地元美容室のオフィス、庭は農園として活用することになるかと。ガレージには軽飲食や家具・雑貨などのショップが作れたらいいなと思っています。

— 宇田さんはそこでどんな役割を？

宇田 プレイスマネージャーです。

— 具体的にはどんなお仕事？

宇田 テナントさんのサポート、イベントの主催、その他、利用される方々のニーズに応じて、フレキシブルに動いていく、管理人の役割です。

和田 イベントは、年に何回くらい開催する予定ですか？

宇田 まずは年 3 回くらいからスタートして……。

和田 いやいや、もっとやらなきゃ！ 少なくとも毎月。古民家ビラティスとかね。

— テナントさんと一緒に考えるとスムーズかもしれません。

宇田 月に 1 回。がんばります。

— 料理教室、マッサージ……、いろいろできそうですが、守口を？

和田 イベントは、年に何回くらい開催する予定ですか？

宇田 まずは年 3 回くらいからスタートして……。

和田 いやいや、もっとやらなきゃ！ 少なくとも毎月。古民家ビラティスとかね。

— テナントさんと一緒に考えるとスムーズかもしれません。

宇田 月に 1 回。がんばります。

宇田 一緒に守口を盛り上げていたらいいなと思っています。

— ウラモリでは、オリジナルの日本酒を作っているみたいなんです。今後ブルワリーで、オリジナルクラフトビールづくりが一緒にできるというんですね。

和田 農園で作った夏野菜でバーベキューもできる。プロの調理方法で食べたとか。クラフトビールまでそろえばもう完璧！

コミュニティに必要なこと

和田 コミュニティを継続させるには、ハード(施設)よりもソフト(内容)の方が大事になる。特定の人だけが同じことをしてちゃだめで、引き継いでいかなきゃならない。

— ウラモリにあるヨッコイショさんでは、スタッフさんの働きかけによって部活なるものが生まれ、今では常連さん同士、ドッジボール部とかゴルフ部とか麻雀部とか、新たな部活も発生していると聞きます。

和田 「さまざまな体験ができて、自分も成長できるまち」守口」って言ってもらえるようになりたいですね。そのひとつの場として徳永家の果たす役割は大きい。今はまだハード(施設)的な

んぼでも人気だった家具のワークショップなんか楽しんでます。

和田 「まちで遊ぶ」という習慣が若い人たちにはないと思うんです。遊ぶといえば梅田などの都会やショッピングモールに行つて、映画を見て買い物して、食事して、でもそれって用事を済ませているだけなんです。『まちで遊ぶ楽しさ』を、この旧徳永家住宅をきっかけに知ってもらえるような場所にしたいですね。

— 宇田さんは接客業は好きですか？

宇田 好きです。いろんな人に会ったり話したりしたいです。

和田 ニコニコしながらすごい言いにくいことも平気で言えるよね。

— ものすごく大事な要素ですね。

守口の印象

— 宇田さんはどんなまちが好きですか？

宇田 住むなら便利な都会派なんですけど、「まちな感」のある、人の温かさを感じるところがいいなって常々考えています。

— 「まちな感」って？

宇田 都会暮らしが好きとはいえない、人混みに埋もれればなしたと、疲れてしまいます。友人との待ち合わせには、もう少し個人的な場所、大正区を選んだりもします。

役割だけけど、今後はソフト(内容)を育てていかなきゃ。農園で育てるのは野菜だけじゃない、コミュニティも育て、そんなコンセプトを立てています。

— きれいなまとめ、ありがとうございます。

和田 徳永さん(元所有者)が、調度品や絵画を寄付していただいたよと言ってくださっています。昔の暮らしぶりや、土地にまつわる物語も、イベントに繋げて欲しい。昔々炭蔵があつて、そこでこんな苦労があつたとき。それが今こうなっているんだよってね。

宇田 それは楽しそうです。

和田 不安ってある？

宇田 もちろんあります。ちゃんと馴染んでやっつけていけるのか？ 全くわかりません。いつまでも変な自信もあるんです。「楽しめる」っていう自信です。「成功する」っていうのじゃなくて、「楽しめる」。それだけです。

和田 近隣に住む人たちとのコミュニケーションも大事になりそうですね。近い将来「守口にはこんなおもしろいところがあるから、遊びに来て」って、市民みんなに言ってもらえるような、その管理人は宇田ちゃんというんだって、て名物になる存在になりたいですね。



よね。大久保利通らの大阪遷都という野望のため、練られた計画だったそうです。

明治天皇が、ここ難宗寺に辿り着くまでの道中の安全確保、食べるもの、また大勢のお付きの人々のやり繰り……、きつと「大事だったに違いない。」

また、明治43年10月には、皇宮殿下（後の大正天皇）も泊まられた。

ただそう。

玄関を上がったすぐの襖を開けると、小部屋がある。その先の襖を開けると次の小部屋。そのまた先の襖を開けると、空間が少し開け、左手に別の部屋が繋がって、さらにその先にも部屋がもうひとつ。ここだ！御座所はすぐにわかる。襖を全部ぜんぶ開けると、玄



関からまっすぐのびた先に中庭が見えるつくり。さらさらと風が通り抜ける、とても気持ちの良いところ。



難宗寺

守口市電田通 1-5-2
9:00-17:00
無休

猩々緋菊紋船印

しょうじょうひきくもんふなじるし

慶長4年（明治元年・1868年）3月21日に京都を出発した明治天皇は、初日は石清水八幡宮に、翌22日にここ難宗寺を宿所とし、23日に大阪の西本願寺津村別院に到着、その後1ヵ月半にわたり大阪に滞在されたという。難宗寺には、明治天皇から拝領した旗が残されている。真紅のラシャ地に白の菊紋の旗は後座船用の船印であったといわれている。



「突然すみません。お寺のことについて、ちょっと教えていただけませんか……」。格調高い難宗寺の、たぶんご住職とそこご家族が住んでおられるであろう、玄関のインターホンを鳴らした。

奥様「このごろ、取材でつて、訪ねてきてくださる方が多いんですよ。今日は、何をお話ししましょう？」

「可能でしたら、御座所を見せていただけませんか？」突然訪ねて、厚かましいにもほどがある。

奥様「良いですよ。いま鍵を開けますね。あちら側にどうぞ。」

慶応4年3月22日、明治天皇が大阪行幸の折に、一泊されたというお部屋。

奥様「広くもなく何もないこんな場所……って、不思議に思います」

「守る」ということ

難宗寺



守口市旧本庁舎等跡地活用事業

守口市では、旧本庁舎等跡地周辺を、様々な世代や対象に向け、守口のこれからの新しいライフスタイルを創出していくための機能導入を充実させていく「新都市生活創出ゾーン」に位置付けました。基本的なコンセプトとして「みどりを感じる憩いの空間と新たな賑わい・交流づくり」と定め、都市核全体の魅力発信や活性化に寄与する活用を図ることとしています。

公民連携手法（PPP）（※1）により民間事業者の開発提案を募集し、令和2年3月、エス・ティ・ティ都市開発株式会社を代表法人とするグループの提案が採択されました。開発コンセプトとして、ヒト・モノ・コトがつながる守口市の新たな「顔」として「Link City Moriguchi」を掲げ、憩いの広場である「Link Park」、商業施設「Link Mall」、賃貸住宅「Link Residence」を整備し、守口市の魅力を象徴するライフスタイル（住みたい、子育てしたい、働きたい、行ってみたい）を発信するとともに、歴史文化資源等を活かした守口市の玄関口にふさわしい拠点を創出します。

憩いの広場では、子どもたちの記憶に残る遊び場、子育て世代等の交流の場、市民参加型イベントによるチャレンジの支援、マルシェやキッチンカーの出店、発表の場、ワークショップ、市民まつり等の地域イベントとの連携など、発表の場や新たなビジネスを始め始めるきっかけの場となることを目指しています。

（※1）Public Private Partnership の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的な使用や行政の効率化等を図るもの。

三村 残念ながら、丸魚をご購入されるお客様は年々減っています。ですから最初のうちは頑張って売り場を設けても、時間が経つにつれ、なくなっていくと思います。

—でも、ここ守口店には、大きな丸魚コーナーがありますよね。

三村 そう、それがここ守口店の最大の特徴で、大阪地区全域でもトップクラスの売り場面積だと。これはひとえに昔から、長く、支えてくださっているお客様、いわば常連さん、と呼べる方がたくさんいらっしゃる。だから調理も「平

分はお刺身に、もう半分は切り身に」みたいなご要望にもお応えしています。町のお魚屋さんみたいな感じになれたらいいなあと、いつも思っているんです。だから、対面の鮮魚コーナーで、品出ししながら、お客様と直接お話しする時間は、とても大切にしています。

—いっぽうで、若い、新しいお客様にとっては、なかなか馴染めないケースが多いようです。イオンさんや、ららぽーとさんのようなピカピカで、綺麗な、対話のほとんどない売り場の方が行きやすい。

ここに課題があるんです。

より地域に密着した仕入れ

三村 今、青果のコーナーには「バイヤーセレクト」という棚があるんですが、市場の商品とはひと味違う野菜や果物を探して全国の産地を巡り、特に、自信を持っておすすめできるものをご紹介します。

—どんなものがあるんですか？

三村 じゃがいもや玉ねぎ、人参といった定番野菜から、季節のも

のまで、いろいろですが、毎日よく売れるのはベビリーフです。

—ベビリーフ？ちなみにおいくらなんですか？

三村 50gで198円と、そう安くはないんですが。

—でも、すごく高いというわけでもないですね。

三村 まあまあ、そこそこ、ですよ。あと最近はお客さんの観点から、地産地消を推進のために、大阪沿線の農家さんの商品を仕入れるようになりました。

—近郊の農家さんですね。朝採れ

たものが買えるんですか？

三村 全部ではありませんが、「朝採れ」として売り出しているものもあります。物理的に距離が近いので、トラックを出したついでに持ってきたよ、というような近所付き合いの関係が生まれたりして楽しいです。これからもっとと、地域に根ざして行きたいなと思っています。

守口市民の台所

—こんにちは。今日はお時間を頂き、ありがとうございます。

三村 いえ。私で、ちゃんとお話しできるかどうかわかりませんが、よろしくお願ひします。

—地域の台所を担っておられる、おふたりのお話がうかがえばと思います。

三村 「地域の台所」、日々、そうありたいと、思いながら働いています。私は入社以来、ずっと鮮魚担当だったんです。

三村 そうです。今はフロア全体

食品全般を統括的に見るようになりました。京阪全店舗の大きな仕入れ窓口です。いくらで、いくつ仕入れて、どう売るのが、を考えます。店舗ごと地域性によって差があるので、小さな数量の仕入れは、すべて現場の担当者に一任しています。

仕入れの大小

—大きな仕入れと小さな仕入れ、具体的にはどう違うんでしょう？

三村 まず大きな仕入れの代表はかに、うなぎ等です。イベント性、文化性があり、単価が高い。全体

をまとめたとき、大きな金額になるんです。

「これいくら」という販売金額ばかりが話題になりがちで、かに、うなぎですが、生産地によって品質もかなり違いがある。とくに美味しいものを選ぶようにしています。

—いっぽう丸魚は、地域性、季節性が高く、相場も日々変動するので、各店舗の売り場担当に任せられた方がよい。

—三村さん「大きい取引は、かに、うなぎ以外に何が？

三村 本マグロです。高知県・宿毛の「黒潮本マグロ」という商品に力を入れています。

丸魚に注力

—ところで、先ほどおっしゃっていた「丸魚」というのは？

三村 まるのまんま、という意味の、おそらく業界用語で、捌く前の、そのままの魚すべてをいいます。視覚的に匂と、鮮度をアピールできるので、あたらしくオープンされる大型スーパーマーケットさんは、必ずこの「丸魚」コーナーを設置し、挑戦しておられる傾向があるようです。

—調理前のものを買われる方、そんなにたくさんいらっしゃいますか？

地域の農家さんとのつながりがなにより大事

京阪百貨店守口店



京阪百貨店

守口市河原町 8-3
 8階大催事場、7階京阪ギャラリー 10:00-19:00
 7階レストラン街 11:00-21:00 (20:00LO)
 7階レストラン街 カフェコムサ 11:00-20:00 (19:00LO)
 7階書籍 10:00-20:00
 7階ラ・ペーラ・KOMEHYO・保険デザイン 10:00-19:00
 3階-6階 10:00-19:00
 地階-2階 10:00-19:30
 ※元旦



自然と都会が混ざり合う、
守口で楽しむ子育て



守口生まれ、守口育ち、 守口で働き、子育て中— 生粋の守口人の暮らしぶりは どんなもの？

「守口を出ようと思ったこと？一度もありません」そう話してくれたのは、ご主人とふたりで『24時間フルーツ』を経営する森さん。3人のお子さんといっしょの時間を大切にしておられるという、日々の暮らしについてお話をうかがいました。



森 彩乃さん

借り、数百キロ単位にもなる果物や野菜を、小さな単位に分け、袋づめしなければいけません。なかには傷んでいたり、腐っていたりと、販売できないものもあり、検品しながらの袋詰め作業は、意外と手間がかかる。この商売を始めた当初、私はデイスリーブのパートもやっていたんですけど、両立はほんとうに厳しかったです。

—お客さんはどんな方なんですか？森さんと同世代（30代）くらいですか？

森 同世代の方もたくさんいますが、ご年配の方も多いです。最初はみなさん怪訝そうに、遠巻きに見ておられました。今ではすっかり慣れたのか、常連の方も増えました。

—無人販売では、お金を払わないお客さんのことがニュースになっていたりしますが、森さんのところではいかがですか？

森 そういう人ももちろんいるにはいるんですけど、ほとんどの人がちゃんとお支払いしてくださいます。以前「前回計算間違えて、多分りんご代払ってなかった。

た分です」と書かれた紙に、お金を包んで入れてくださった方もいて、改めて平和な地域だなと思いました。人の雰囲気とか、いい人が多いなど。

守口に住み続ける理由

—守口市は、森さんたちのような子育て世代の方、育児、教育、仕事をサポートするための施策を行っています。旧徳永家住宅（古民家）の再生もそのひとつ。

森 そうなんです。実は守口に住んでいても、あの界限にはほとんど足を踏み入れたことがありません。ふらっと行って楽しめる場所がないような気がして。

—立ち寄りやすいよう、レストラン、ブルワリーなど、いろんなお店が入る複合施設になるそうです。

森 それは楽しみです。守口にはおしゃべりなお店が増えてますよね。なにげに子どもたちの通う小学校も、ほんとに素敵な空間で、おしゃべりな大学のキャンパスと見間違えそうです。うちの子はとくに図書室がお気に入りみたい。

—お店を始めてみて、いかがですか？

森 想像以上にたくさんのお客さんが来てくださって、パニックになったこともあります。無人販売はあまり手のかからないイメージだと思んですが、なかなかどうして、やらなきゃならないこと盛り沢山なんです。

—たとえばどんな？

森 契約農家さんから仕入れる量が、とにかく多いんです。倉庫を増やし、今主人は守口で店を営んでいます。

—お店を始めてみて、いかがですか？

森 想像以上にたくさんのお客さんが来てくださって、パニックになったこともあります。無人販売はあまり手のかからないイメージだと思んですが、なかなかどうして、やらなきゃならないこと盛り沢山なんです。

—お店を始めてみて、いかがですか？

森 想像以上にたくさんのお客さんが来てくださって、パニックになったこともあります。無人販売はあまり手のかからないイメージだと思んですが、なかなかどうして、やらなきゃならないこと盛り沢山なんです。

—お店を始めてみて、いかがですか？

森 想像以上にたくさんのお客さんが来てくださって、パニックになったこともあります。無人販売はあまり手のかからないイメージだと思んですが、なかなかどうして、やらなきゃならないこと盛り沢山なんです。

—最初の頃は主人がひとりで上田公園のフリーマーケットなどのイベントに出店していたんですが、今は守口に店舗を構えています。

—置いてある商品がどれもリーズナブルで買いやすいです。仕入れはどこで？

森 契約農家さんから直接仕入れられています。主に和歌山の農家さんが中心です。

—和歌山？

森 そう。彼の友人と一緒に経営スタートさせ、少しずつ農家さんを紹介してもらいながら取引先を

—一度もないです。守口は家賃も、駐車場代も安い、治安もいい、コスパがいいです。スーパーもいっぱいあって買い物も便利。

子どもと暮らす生活のリズム

—ところでお子さんはなにか、塾や習いごとをされていますか？

森 先日プログラミング体験の教室に行きましたが、まだまだ遊びざかり、落ち着いて何か習得するという感じではありません。娘はふたりともダンス教室に通っています。

—近所で、よく行く遊びに行く場所など、あれば教えてください。

森 大枝公園にはよく行きます。以前出店したこともあって、馴染みがあります。あと、パンダ公園（大宮中央公園）も行きますね。

—お子さんと一緒にご飯は食べに行くところは？

森 守口には親子カフェが2軒ありますよ。

—「コノイロハ」や「Oh cafe」ですね。

森 コノイロハは行ったことあります。長女が小さいときはまだ、親子カフェなんてありませんでした。が、少しずつ増えてきていますよね。気軽に行けるのでありがたいです。

—家族で出かけるときは、どこへ

—守口で好きな場所、思い出の場所があれば教えてください。

森 私が生まれて、第一子、二子の生まれた助産院が思い出の場所です。よく行くのは居酒屋です。家族と一緒に、友人たちとご飯を食べる時も、飲みに行くのも、居酒屋ばかり。最近家族で行くのは、グルメハウスJYという老舗の洋食屋です。ラパンのカレーパンもお気に入りです。守口はおいしいお店もいっぱいあって、子育てしやすい街です。

旬のフルーツがいつでも手に入る

24時間フルーツ 守口店
西郷通 2-11-18
24時間営業
無休



2023年11月にオープンし、本格新鮮なフルーツをお気軽に！をモットーに、農家さんから直送し、24時間いつでも美味しい旬のフルーツを提供しています。



—公立なんですけど、そこもすごくキレイです。以前は保育料も高く、なかなかしんどいなと思っていましたが、娘が2歳の時、無償化になりました。施設運営費は保育園によってまちまちみたいですが、下の娘が通うあおぞら認定こども園は、ひと月900円、給食までついています。

—保育料無償化が、守口に移り住むきっかけになるといって家族も、たくさんおられると聞きます。

森 長く守口に住んでる実感として「とにかく住みやすい」って思います。

—大阪市内に住んでみたいと思っ





守口さんぼ Vol.3 シンポジウム

守口の 「まちを遊ぶ」

まちの多様性のしかけかた

——まずは地元パネリストのみなさんに、守口市にこんな場所があったらいいなと思うものを教えていただきたいと思います。はじめに、守口市で飲食店や美容院、保育園などを数多く経営しているらつしやる川浦さんからお願います。

川浦 今事務所を探しています、駅から近くてオシャレな建物がないかなとリサーチしています。僕自身、リノベーションの価値に興味を持っています。京都でもエルメスやライカなどの有名ブランドが、古い町家をリノベーションして価値をつけているじゃないですか。そういうカッコいいところで働きたいという意識につながるかと思っています。

住宅をプレゼンしてもらおうというのでは？

宇田 はい。2024年から旧徳永家住宅のリノベーション工事が始まるのですが、地域の人が集う場所を目指しています。貸し農園やクラフトビールのブリュワリー、レストランなどができるほか、二階にはオフィスも予定されています。

——いいですね、古民家オフィス。川浦さんにびったりですね。また、地域の人が日常的につながる場所になりそうで楽しみです。永松さん、守口住民としてはいかがですか？

永松 そうですね。守口に欲しかった場所が詰まっているなと思いました。農園などコミュニティの場としても魅力的ですね。でき

るのが本当に楽しみです。

——ふだんはどんなふう守口での暮らしを楽しんでいらつしやいますか？

永松 在宅勤務の日のランチや、夜、仕事帰りに夫と行くお店だったり、ちよつと特別な日に行くお店など、お気に入りを見つけてます。お店の方と話したりもして、守口を満喫してますね。

——いろんなシーンに合うお店があるのは、守口のいいところですね。

永松 本当にそうですね。去年「守口さんぼ(※1)」に出店していたお店に足をのびして行つてみたりして、さらに行動範囲が広がりました。お店の方に別のおすすめのお店を紹介してもらつたりして、自主的に守口さんぼをし

てますね。

——地元を好きになっていく人が増えて街が変わる、そんなムードを感じますね。加藤さんいかがですか？

加藤 先ほど自分が主催している「バイ・ローカル(※2)」の話をしましたが、地元の人が地元のお店を楽しむというのはいいなと思えます。日本人ってわりと自分の街の自己肯定感が低いのですが、自分の暮らしている街がいちばん楽しいというのが、21世紀型の都市の暮らしじゃないかなと。永松さんはその実践者ですね。そういう人が増えていくのはいいストーリーだなと思ってました。

——この流れをまちづくりを生かすにはどうしたらよいのでしょうか？

馬場 まず、小さな魅力やチャレンジがたくさん始まって、その集積でもちがえるというのが、幸せな街の本来の姿なんじゃないかなと思うんです。昔の都市計画は行政が全てつくり、大企業を誘致して、その後住民が住む流れでした。そうすると計画する人が中心の街づくりになって、住む人はお客さんになってしまふ。それで本当に楽しい街なんだろうかと気がつき始めた。今回の取り組み

のように自分たちの街を楽しむするために参加する、自分ごととして捉える人の様子を見せることで、ダイベロツパーや行政も、「こういう人がこんなことをするためにこの街をつくるんだ」と認識できる。つくり手発想から使い手発想の街になっていく。そうすると



豊秀松月線

街が楽しくなって、結果、街の価値も上がる。行政も住む人もハッピーになるいい循環をつくっていききたいですね。

加藤 今はなかなか20年先、30年先を見た投資をできない時代で、「守口さんぼ」のような社会実験は、使い手側の動きを見ながら投資の方向性を考えられるツールにできるし、指標になるなと思います。



ワークショップ・屋台の学校



制作した屋台で守口さんぼに出店

馬場 それでいうと豊秀松月線は、去年、一昨年に「守口さんぼ」で使用した例に基づいて道路設計がされていますね。ソフトの実験があつて、ハードが動く、小さな投資があつて、大きな投資が動く、そういった時代になってきていると思います。守口市は新しいことをやっていますよね。

——活用が前提の道路ができるということですね。そこに人が集まってくると周りのお店も元気になって、そこから新しい人の流れが生まれて、街が変わっていくきっかけになりますね。一方で、今回高架下に屋台を並べてお店を出す実験をしましたが、こちらはもう、ハード面の投資なしでも始められるのかなと思いましたが、今村さんいかがでしょうか。

今村 屋台を作ると、どこかで何かを売ることを考えるから、そこからもうまちとの関わりが始まるんですね。まちづくりという大きな話になりがちですけど、こういう繋がり方もあつて、守口さんぽが終わった後、どんなふうこの屋台が生かされていくのか、楽しみます。

——出店場所が難しいと思うのですが、今回の場所はとてもよかったですね。ふだん活用されていない場所が、商いはじめの彼らにとってはとても価値のある場所になりましたね。

馬場 守口はいいプレイヤーが揃つていて、未来が楽しみだなと思えました。今日対話をしていて、いい言葉だなと思ったのは「ちよどいい街」というワード。守口

(※1) 守口市のこれからまちづくりを考える取組みとして、地元の店舗や企業と協力し、公共空間等を活用しながらまちを回遊する社会実験。2022年に会場となった豊秀松月線や旧徳永家住宅は、この実験を基に「人の集まる場」としての機能をもった場所になるべく、2024年から工事を開始。

(※2) 地元密着の店舗の利用を促し、商いを育てることで、地域の価値と人々の生活の質を高めるローカルマーケット。大阪市の阿倍野区、東住吉区界隈で、2013年にスタート。



旧徳永家住宅活用事業

守口市日本庁舎等跡地活用事業

桜町団地

豊秀松月線

西口エリア

守口市駅北側エリア
みんなの
おすすめ店

アンケート結果発表
守口市駅北側エリア
みんなの
おすすめ店
ぽんぽん

市長より

点での取り組みが面に広がり、相乗効果でエリアのイメージや価値向上に繋げ、守口にしかない魅力を発信したい。



瀬野 憲一 市長



そうした魅力がありながらも、エリアの一部では、空き家が散見されるなどこのエリアの魅力が伝わっていないという課題を持っています。エリアリノベーションという手法を用いて、このエリアのイメージや価値を転換させたいと思っています。

このエリアの今後について

このエリアでは、市役所跡地活用事業や、豊秀松月線整備事業、旧徳永家住宅活用事業など様々な取り組みが行われていきます。そうした点での取り組みが面に広がり相乗効果でエリアのイメージや価値向上に繋げることで、守口にしかない魅力を発信していきたいと考えています。

戦略を作った経緯・背景

守口市では、「第6次守口市総合基本計画」をはじめとして、市政運営に係る基本方針等を定める各種の主要計画においても、守口の魅力と出会う機会を増やすことや、守口市駅周辺など市内外の多くの人を惹きつける地域のランドマークとなる都市の顔づくり、それらの魅力の発信による都市イメージの向上に向け、中心市街地のエリアマネジメントの推進に取り組むこととしています。

しかし、守口市総合基本計画や都市マスタープランといった主要計画では、守口の将来都市像や大きな方向性を描くもので、市民のみならずにとつて実感が湧きやすいものが必要であると考えていました。

そこで「守口市駅北側エリアリノベーション戦略」を策定することで、前述の計画で示した大きな方向性を守口市駅北側を対象エリアとして、エリア価値の向上に向け、公民が連携して、共にまちづくりに取り組むためのアクションプランとして示すことで、市民のみならずにもわかりやすく実感いただくためのものにしたというように策定にいたしました。

戦略にかける想い

守口市駅北側エリアは、京阪電車と大阪メトロが通っているという交通利便性の良さがあり、また、商業施設もある一方で、文祿堤や旧徳永家住宅といった、歴史的な構造物もあるといった魅力溢れるエリアだと思います。